

河津桜が咲き始めています。  
見頃は、2月中旬から3月中旬となっています。  
約1kmに渡る桜並木を是非ご散策ください。



一番早く咲く「正月桜」が京都新聞で取り上げられました。



京都市伏見区淀地域を流れる水路近くで、早咲きの「河津桜」が見頃を迎え始め、通り掛かった住民らが一足早い春を楽しんでいる。町おこしの一環で、2002年に2本の苗木を植えたのが始まり。住民らでつくる「淀さくらを育てる会」を中心に、地元の寄付で植樹が進められ、現在は水路沿いや淀城跡公園などに約300本が植えられている。桜の中でも早咲きの品種で知られている河津桜だが、淀に植えられたものの中には、かなり早い時期から咲く木が2本あり、別名「正月桜」とも呼ばれている。同会によると、その2本の木では、今季は昨年12月8日に咲き始めたといわれ、1月29日現在で8部咲きとなっている。



例年3月初旬が見頃です

淀さくらを育てる会と淀連合自治会や淀観光協会、そして地元住民の方々が協力して花見シーズンに備えます